



My Best Doctor
小原澤 友伸 理事長

Tomonobu Koharazawa
1994年、日本歯科大学卒業。東京医科歯科大学総合診療科を経て、2002年に医療法人社団歯整会のぶ:デンタルクリニック開院。04年、のぶ:デンタルクリニック三宿開院。これまでにポルトガル・スペインおよびペニンシパニア大学にインプラント留学

その人その人に合った
オーダーメイド治療を徹底

「一つの歯だけを治すという対症的治療はもちろんです、大切なのは全身の健康

先端機器を相次ぎ導入し
歯科の枠を超えた
高度な総合医療の展開で
患者満足度を実現する

を考慮した総合医療であると思っています。このため、先端の設備でしっかりと診査・診断を行い、カウンセリングを徹底した上で、それぞれの患者様に適した治療計画を提案しています」と、のぶ:デンタルクリニックの小原澤友伸理事長は話す。

総合医療の一環としての矯正治療では、審美面を重視した目立たないマウスピース矯正や舌側(裏側)矯正などを行う。「患者様の歯型を取り、歯の矯正のシミュレーションにのっとり一つひとつステップを踏んでゴールを目指します。その人その人に合ったオーダーメイド治療を徹底しています」

睡眠と歯科の研究を進め
高度医療に意欲的に取り組む

総合医療への取り組みは、睡眠と歯科の研究にも及ぶ。朝起きると喉が痛かったり、元気になっていたりするのは、睡眠中の動態がかかわっているからだと言いつつ、場合によってはOSA(閉塞型睡眠無呼吸症候群)を引き起こし、危険な状態になることもある。「将来は歯科の睡眠外来を設けて、歯ぎしり、くいしばり、いびき、OSAなどの診療を行ってほしい」と思っています」と、歯科の枠を超えた高度医療に意欲的に取り組んでいる。

ザイゴマインプラント治療が
できる限られた歯科医師の一人

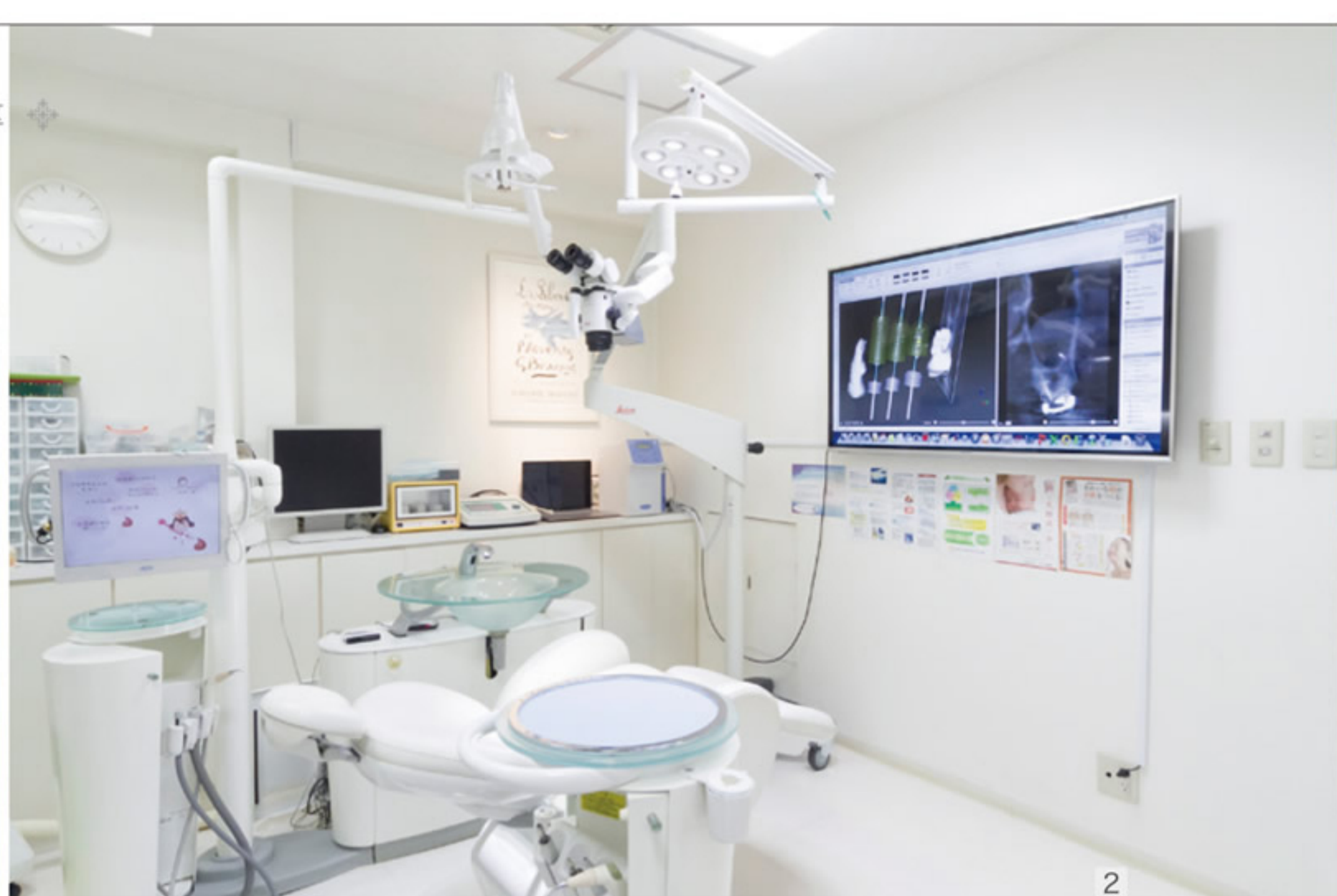
もともと一本だけの審美性を追求したインプラント治療には定評がある。豊富

な知識と高い技術力は、世界的にも評価されている。1951年創設の歴史と伝統のあるAAID(アメリカ口腔インプラント学会)では認定医制度を設けているが、「2013年2月にパスしました。ハードルが高く、英語による300問の筆記試験を受けた後、120分間の口頭試験を5テーパーで各アープル2人の試験官のドクターと一緒に進みます。試験の結果、世界中から集まった受験者のうち、上位1%に入ることができました」

インプラント治療では、骨がほとんどない難症例の治療も行う。小原澤理事長は、高度な知識と技術を要するザイゴマインプラント治療ができる日本でも限られた歯科医師の一人で、ポルトガルのドクターパウロ・マロに師事してオールオン4をいち早く取り入れた。通常の術式の「スタンダード」からザイゴマ(頬骨)4本を用いた「エクストラマキシラ」まで、どんな難症例にも対応できる多彩なオールオン4で実績を上げている先端の歯科クリニックだ。

国内に先駆けて先端機器を導入
こだわりをもって総合医療に臨む

「歯科治療などで抜いた歯を液化窒素の冷凍により半永久的に保管しています。それを必要な時に取り出して再生医療として生かします。例えば、インプラント治療を行う時に骨が少なくて骨造成が必要な場合、保存していた歯を自分の骨として利用できるわけです。今年3月末に国内に先駆けて先端機器を導入し、再



生医療での対応が可能になりました」

同院の先端機器は数多く、根管治療などの精密な治療に欠かせないLEDマイクロスコープをはじめ、3Dでのレントゲン撮影を可能にするCTコンピュータ断層撮影法を導入。無影灯に望遠と広角の特注カメラを取り付け、5000倍に視野を拡大して治療できる高度システムも採用している。

「インプラントは、時間とともに空気の窒素が表面に付着し、被膜することでトラブルの原因になったりします。その被膜を分解し、工場のできたてのインプラント状態にする機器も導入しています。また、高齢者の中には全身の病気を抱えている方が少なくありません。このため生体管理モニターを設置して、全身管理を徹底しています」

究極のかみ合わせを実現する
顎機能咬合解析システム

かみ合わせが悪く矯正を必要としたり、上顎や下顎のすべての歯の治療が必要な場合、国内に先駆けて導入した先端機器の顎機能咬合解析システムが威力を発揮している。ウィーン大学名誉教授のストラブチェック先生の理論に基づいて開

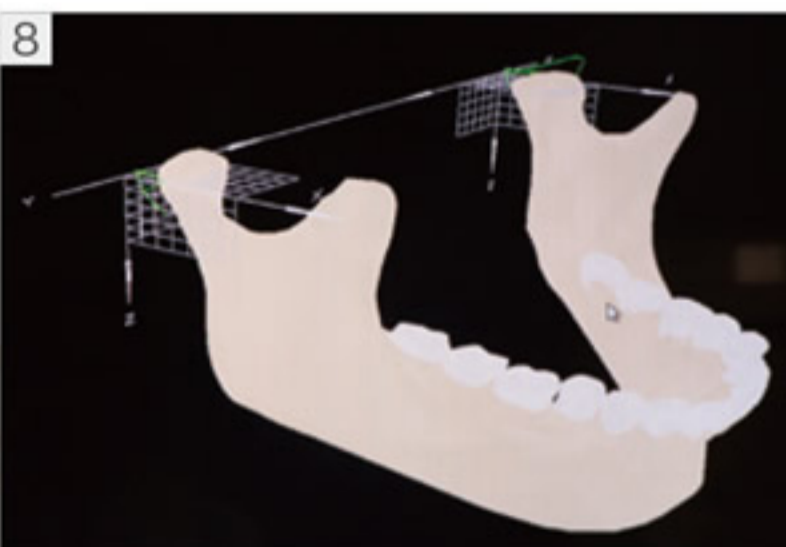
1. AAIDの認定証を授与
2. 大画面に映し出される3D画像。LEDマイクロスコープや無影灯カメラなどの先端機器をいち早く導入
3. 生体管理モニターで全身管理を徹底し、総合医療に生かす
4. インプラントのチタンエイジングの問題を解消する先端機器。10分ほどでチタンに付いた膜を取り除く
5. 抜いた歯を保管し、再生医療で活用する先端システム
6. 審美性の高いインプラント治療やザイゴマインプラント治療など高度治療を行う

発された新時代のシステムで、下顎の動きを1mm以下の単位でリアルタイムに表示し、その記録に基づいて咬合器の調節を行うことが可能だ。この咬合器は顎機能咬合解析システムと連動し、患者の口腔内をより正確に再現する。

「かみ合わせが悪いとむし歯や歯周病になりやすいだけでなく、顎関節症になったり、頭痛や肩こり、耳鳴り、さらにはうつろの症状を引き起こしたりします。顎の骨の形態と筋肉のバランスによって顎の動きが決まります。顎機能咬合解析システムは、その顎の動きに合わせて、歯並びや歯の形の的確につくる装置です。これにより顎関節症を治す確率も高まります。これをオールオン4などに活用すれば、究極のかみ合わせが期待できます」と小原澤理事長。ここまでのこだわりをもって総合医療に臨んでいる歯科クリニックは数少ないといえるだろう。



7. 難易度の高い高級技術を要するザイゴマ4本を用いた「エクストラマキシラ」 8. 嚥下や発音時などの顎の動きがコンピューターで解析され画面に映し出される。「これにより完璧な歯型を作ることができま



のぶ:デンタルクリニック本院
東京都世田谷区中町4-17-9 粕谷ビル1F
☎ 03-5760-4618
診療時間: 平日 10:00~13:00 / 14:30~20:00
土・日 10:00~13:00 / 14:30~18:00
休診日: 祝 駐車場あり、バリアフリー対応
http://www.nobudental.jp

のぶ:デンタルクリニック三宿
東京都世田谷区下馬1-20-13
☎ 03-3487-4618
診療時間: 月~土 10:00~13:00 / 14:30~20:00
休診日: 日・祝 駐車場あり、完全個室
http://www.nobudental.com

インプラントサイト <http://www.nobu-implant.com/>

矯正治療、ホワイトニング、インプラント治療、オールオン4は自由診療です。
矯正治療は約30万円、インプラントは1本10万円~17万円、オールオン4(最終補綴材込)は上顎218万円、下顎198万円(いずれも税別)